

第三五回 内村鑑三研究セミナーのご案内

日時 二〇二二年六月十二日（土曜日）一四時～一七時

開催方法 ZOOM（新型コロナウイルス感染防止対策のため遠隔会議として開催）

発表

明治以降の日本人キリスト者の風景観の形成に関する考察

河田俊郎

（日本キリスト教会加西伝道所）

〔発表要旨〕

自然的環境を見つめるとき「自然観」、「天然観」という言葉が使われてきた。それらの論考では信仰と科学というように二項対立で把握されることが多い。本稿ではさらに自然への美意識の視点を加え「風景観」として把握を試みた。特に植物、自然的環境への評価を中心に、内村における生活体験に伴う信仰と自然科学的知識と自然の美意識の相互の影響の様相を考察した。「風景」を考察する意義は美学的な観点により自然破壊を食い止め、新しい環境創造に資するという期待があるからである。

内村鑑三の「無教会」と日本思想史の文脈における「無所属」「無党派」の研究

東島 誠

（立命館大学文学部教授）

〔発表要旨〕

本研究は、無教会キリスト教を中心的対象としつつも、より広く、無所属、無党派を標榜する思想を、歴史貫通的な問題史として掘り下げる。足尾銅山鉍毒事件に取り組んだ内村鑑三の理想団運動は、なぜ挫折したのか。近くは二〇一五年、自由と民主主義のための学生緊急行動は、なぜ短期間のうちに失速したのか。そこには、新たな連帯の可能性と、根無し草的脆弱性が、同時に観察可能だ。無教会から透けて見える日本社会の公共性の構造、また歴史学者網野善彦の「無縁」に通ずる特有の神観念のありように迫りたい。

司会 岩野祐介（『内村鑑三研究』編集委員、関西学院大学教授）

資料・通信費 一〇〇〇円

申し込み 五月三十一日までにメールで左記までお申し込みください（氏名、住所、TEL、メールアドレス明記）。折り返し当日ログインするURLと資料・通信費振込口座の情報をお送りします。

岩野祐介 メールアドレス ah117298@kwansei.ac.jp

主催 『内村鑑三研究』編集委員会

（荒井克浩、岩野祐介、柴田真希都、ゾントーク・ミラ、高木謙次、千葉 眞、柳父圀近）

問い合わせ 岩野祐介 メールアドレス ah117298@kwansei.ac.jp

今井館教友会内『内村鑑三研究』編集委員会 電話 03-62277-5669

（業務日：月水金 一〇時～一六時半）